



Der Brückenpfeiler

2026年3月



Der Brückenpfeiler は「橋脚」という意味のドイツ語です

公益財団法人 日独協会 情報紙
Japanisch-Deutsche Gesellschaft
2026年3月1日発行（不定期発行）
編集責任：柚岡一明（編集長）公益財団法人 日独協会
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 18-39 マヤ信濃町 2 番館
Tokyo, Shinjuku-ku, Shinanomachi 18-39, Maya Shinanomachi Nr. 2
TEL 03-5368-2326 / FAX 03-5368-2065
Website : <https://www.jdg.or.jp> Mail : jdg@jdg.or.jp

日独協会からのお知らせ

* 2026(令和8)年度 個人維持会員継続のお願い

2月より、来年度の個人維持会員継続のお願い、および郵便局の「払込取扱票」を順次お送りしています。すでに、来年度の会費を多くの方にお振込みいただき、誠にありがとうございます。

今後も会員の皆様に魅力ある活動と集いの場を提供できるよう努めて参りますので、引き続きご支援を賜りたく、まだお振込みをいただいていない方も新年度の個人維持会費の納入をお願い申し上げます。

2025年度末をもって退会を希望される場合は、お名前と会員番号、退会希望の旨を書面（郵便、FAX、E-Mail）にてお送り下さい。なお、新年度の年会費が一定期間納入されない場合は、会報誌の送付を停止いたします。

* 2026年度ドイツ語春期講習会

3月2日(月)から28日(土)まで、春期講習会を開催いたします。4月開講予定の速習クラスのおためし講座、発音や精読、作文や翻訳に特化したクラスなど、様々なアプローチで効果的に学ぶ14のドイツ語講座と3つのセミナーを予定しています。オンラインでの開催ですので、ネット環境があれば日本各地、世界各地からご参加いただけます。詳細は同封のパンフレットまたは協会ウェブサイトでご確認ください。 https://www.jdg.or.jp/deutschkurs/dk_intensiv/

* 2026年度 ドイツ語講習会上半期コース

4月からドイツ語講座の新学期が始まります。ほとんどのクラスがオンラインでの開催です（一部対面開催クラスもあります）。ドイツ語ネイティブと日本人の教師がおり、それぞれの良さを活かした授業を行っています。月ごとにテーマが変わる「学問のための基礎ドイツ語」は2か月、『精読×音読道場』は1か月単位での参加が可能です。詳細は決まり次第、ウェブサイトでご案内いたします。

* 研修生交代

メラニー・シェーファーさんの研修は3月末までとなります。あと1か月、どうぞよろしくお願いいたします。4月から9月末まではエメリー・ラーデマツハさんが研修を行う予定です。

* 会報誌 Die Brücke への投稿募集！

4月号からの新企画として、「イチオシ、わたしのドイツ」の投稿を募集いたします！おいしいもの、街、心を動かされた小説や映画、文房具などのお気に入りアイテム、日本にあるおすすめのドイツパン屋さんなど、皆さんが紹介したいドイツに関するイチオシをぜひお寄せください。

投稿は複数号に分けて掲載の予定です。投稿は300文字以内で協会のメールアドレス jdg@jdg.or.jp 宛てに、または右のQRコードを読み取った先の専用投稿サイトからお送りください（文字数についてはご相談いただくことも可能です）。

メールの場合は件名を「会報誌投稿」とし、必ず氏名をお書きください。（誌上での掲載名はイニシャルでも可）。なお、全員の投稿を掲載できない可能性がある点を予めご了承ください。



ドイツ語講習会 2025 年度下半期コース

月～日曜日

Deutschkurse in der JDG, Oktober 2025 - März 2026

jeden Mo.-So.

新年の集い

1/9 (金) 16:00～19:00

日独協会セミナールーム

Neujahrstreff

Datum: Fr., 9. 1. 26, 14.00-19.00

Seminarraum der JDG

参加者 40 名。本イベントは、毎年この集いから日独協会の一年が始まる大切な行事であり、今年も多くの方の皆さまにご参加いただきました。

冒頭では、恵谷副会長より、会員の皆さまの日頃のご支援とイベント数の増加により会員数が着実に伸びていることへの感謝が述べられ、あわせて参加者のご多幸を祈念して乾杯のご挨拶がありました。続いて柳元駐ドイツ大使からは、昨年以降の国際情勢の変化を踏まえた日独関係の緊密さについて、示唆に富んだ情勢分析をお話いただきました。

その後、ビュッフェスタイルでの懇親会が始まりました。協会から用意した飲み物やお寿司、サンドイッチ、おつまみに加え、多くの方がワイン、日本酒などの飲み物や軽食をお持ち寄りくださったことで、テーブルは例年以上に華やかなものとなりました。

会場では、日独協会の活動への感想や要望にとどまらず、ドイツ語学習の情報交換、ヨーロッパ旅行の思い出、健康や読書、新年の抱負など、実にさまざまな話題で会話が弾み、終始和やかで活発な懇談のひとつとなりました。また、「若者支援」が近年の協会やドイツ大使館の重点テーマである一方、長年の会員もそれぞれの立場——たとえば自身のキャリアを活かして小学校の音楽の時間にドイツ・リートを歌い、子どもたちにドイツを身近に感じてもらうなど——で若者支援に取り組んでいることについても、ぜひ理解してほしいとの貴重なご意見をいただきました。対面ならではのこうしたお話をうかがえたことも、本集いの大きな収穫でした。

新年の門出にふさわしく、親睦と交流を深める、実り多く楽しい集いとなりました。(柚岡 一明)

ドイツ時事問題研究会 第 117 回

1/17 (土) 15:00～17:00

Studiengruppe "Deutschland aktuell" (117)

Datum: Sa., 17. 1. 26, 15.00-17.00

今回はレポートの掲載はありません。

シュプラッハトレッフ (日独言語交流会)

1/17 (土) 19:00～20:40

Sprachtreff

Datum: Sa., 17. 1. 26, 19.00-20.40

参加者約 50 名。今回はドイツと日本で過ごしたクリスマスと新年の様子について話し合いました。誰と祝いましたか？どんな美味しい料理を食べましたか？年末年始に日本

国内やドイツへ旅行した方もいました。皆さんの話では、とても楽しい時間だったようです。

一年が終わり、新たな年が始まりました。2 つ目のテーマとして新年の抱負や目標についても話しました。今年は自然の中で過ごす、家族・友達と過ごす時間を増やしたい、という参加者もいれば、仕事や学校で新たな課題に直面する参加者もいました。皆さんにとって素晴らしい一年となりますように。2026 年も Sprachtreff をよろしく願います。(メラニー・シェーファー)

懇談会サロン「ドイツ情勢と欧州主要国」

1/19 (月) 18:00～19:30

Gesprächssalon „die Lage in Deutschland und den großen europäischen Ländern“

Datum: Mo., 19. 1. 26, 18.00-19.30

レポートは Die Brücke 4 月号に掲載いたします。

独逸塾

1/19 (月) 19:00～21:00

Lektürenkreis „Neuigkeiten aus DACH“

Datum: Mo., 19. 1. 26, 19.00-21.00

参加者 21 名。今回は Deutschlandfunk2025 年 4 月 4 日配信「Wenn Spitzenforscher das Land verlassen」の「研究資金削減、研究者の抑圧から米国を離れるトップ研究者が増加するのではないか。この事態をチャンスと捉え、ドイツは『マイトナー・アインシュタイン・プログラム』を中心に米国の優秀な人材を誘致する計画を進めている」ところまで読み、今回はその続き。「EU の枠組みでも米国の研究者を欧州に招く取り組みを強化。フランスも自国の支援プログラムの充実、ベルギーは奨学金の提供を図っている」。何やら争奪戦の様相を呈していますが、ブレーマーハーフェンにある極地・海洋研究所所長のアンジェ・ベティウスの警鐘「アメリカの研究力の弱体化は国際的な科学の弱体化でもある」で記事は締めくくられていました。

もう一本は引き続き曾田田人さん選定 ORF.at2025 年 8 月 25 日配信「US-Forscher übersiedelt wegen Trump nach Wien」。米国での研究に未来はないとボストンからウィーンに家族共々移住した、著名なロボット工学者ワリ・マリクがメインのテキストです。「ワリ・マリクの新しい職場『アイティラ』は、オーストリア科学アカデミーが 2024 年設立した生物医学人工知能を専門とする研究機関。38 歳のマリクはここで新しく AI 駆動型ロボット工学ラボの構想を練る。大規模な医療及びバイオテクノロジーの実験で科学者を支援する、一種 AI-Copilot を開発する事が彼の目標で、将来的には疾患の原因をより迅速に発見するのに役立つと期待されている。マリクによればトランプ大統領の政策以来、資金が削減される基準も不明瞭なまま、癌やアルツハイマー病の研究等重要なプロジェクトに関わる多くの知人が職を失い、欧州移住を検討しているという。オーストリア政府はその受け皿となるべく奨学金プログラム APART-USA を通じて合計 25 名のポスドクを米国から誘致する準備をしている」。

米国の頭脳流出の歯止めは本当にきかなくなるのか、欧州と米国の関係にどう影響するのか今後目が離せないと感じました。

ところで例会冒頭、「専門は歴史だが、知らない分野のテキストを読むのは良い刺激になる」と語った比較的新しい参加者がいらっしゃいました。余談ですが、かくいう文系の私も独逸塾に入って間もない頃（2017年）、前世話人の森永成一郎さん選出の「イーロン・マスクのテスラ」や「量子コンピュータ」「ゲノム編集」のテキストを必死に読み、苦勞した分、少し視野が広がったような新鮮な気持ちを味わった事、懐かしく思い出しました。（渡部 一子）

.....
[新春特別セミナー] 2026年ドイツ経済はどうなる？
～現地在住経済アナリストに聞く～

1/21（水）19:00～20:30

Sonder-Seminar: Wie sieht die Zukunft der deutschen Wirtschaft im Jahr 2026 aus?

Datum: Mi., 21. 1. 26, 19.00-20.30

レポートはDie Brücke 4月号に掲載いたします。

※会場が書かれていないイベントはオンラインで開催されました。

Veranstaltungen

催物案内

（公財）日独協会が開催する催物のご案内です。申込方法は次の通りです。

- ① 会場の記載のないものは ZOOM を使用したオンライン開催となります。
- ② 事前申込制・先着順の受付となります。
- ③ 日曜日、月曜日は受付作業、お問合せ等の対応はできませんので、あらかじめご了承ください。

※ いただいた個人情報イベント開催に関する手続き以外には使用いたしません。

日独協会の概要及び催物最新情報はウェブサイトでもご覧頂けます。▶ <https://www.jdg.or.jp>

問合せ E-mail: jdgc@jdgc.or.jp Tel.: 03-5368-2326（月～金 14:00～17:00）Fax.: 03-5368-2065

◇文化セミナー176：報道とデータでみる最近のドイツ政治・社会情勢シリーズ6「アメリカからの自立？AfD 政権？2026年のドイツ政治、ここに注目！」◇

講師：高島 亜紗子先生（日本国際問題研究所研究員）、小野 竜史先生（慶應義塾大学法学部専任講師、当協会ドイツ語講師）

日時：2026年3月6日、13日（金）19:00～21:00

このイベントの詳細は同封の「ドイツ語春期講習会」パンフレットをご覧ください。

◇文化セミナー177：映画×ドイツ近現代史 一映画から歴史へ、歴史から映画へ◇

講師：柳原 伸洋先生（東京女子大学・歴史文化専攻教員（ドイツ近現代史）、日独協会講師）

日時：2026年3月11日、18日、25日（水）19:00～21:00

このイベントの詳細は同封の「ドイツ語春期講習会」パンフレットをご覧ください。

◇Sprachtreff（シュプラッハトレッフ）◇

日時：2026年3月14日（土）日本時間 19:00～20:40 ドイツ時間 11:00～12:40

会費：（公財）日独協会会員：無料 / 一般：2,000円 定員：50名程度

担当：メラニー・シェーファーさん、芦野 淳子さん

参加条件：語学交換を積極的に楽しみたい方（目安レベル：A1.2以上）

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

Sprachtreff はオンラインで開催している語学交換会です。レベルごとに少人数のグループに分かれて日本語とドイツ語で40分程度ずつおしゃべりをします。（上級はテーマと言語の時間指定はありません）。また、B1レベルまでのグループにはサポーターが付き、会話のお手伝いをします。

◇独逸塾◇

日時：2026年3月16日（月）19:00～21:00（18:30からオンライン上で開場）

申込期限：開催前週の金曜日まで 会費：無料

世話人：渡部一子氏 松岡優美子氏 井伊篤彦氏

申込み：新規参加希望の方は、会員資格の有無、メールアドレス、電話番号を記載の上、協会までメール（jdgc@jdgc.or.jp）でお申込みください。

ドイツ語圏の政治、経済、社会、科学、文化等、広範なニュースを持ち回りで精訳します。参加者に各分野のエキスパートが揃っている事が魅力の一つ。不案内な内容も詳細なコメントや資料提供で理解が深まり、視野が広がる楽しさを実感できます。先ずは「お試し参加」をお待ちしております。

◇（対面）第6回 ドイツの詩をドイツ語で朗読する集い◇

日時：2026年3月17日（火）14:30～（開場：14:00～）

会場：ベヒシュタイン・セントラム 東京ザール（東京都千代田区有楽町 1-5-1 日比谷マリニビル地下1階 TEL.03-6811-2925）

会費：1.000 円（会場費として）

世話役：藤田 明先生（日独協会評議員）

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

ドイツ語本来の柔らかな発音で、言葉のリズムそのままに詩を朗読する集いです。

ご興味のある方は是非ご参加ください。聞くだけでなくご自身で朗読を希望される方のご参加も大歓迎です。

※ 朗読を希望される方は、訳詞を印刷しますので藤田先生（携帯 090-2523-5040）までご連絡ください。

◇文化セミナー178：ちょっとの意識改革と勇気で、あなたの「コミュパ」は劇的に上がる。ードイツ的コミュニケーションのすゝめ ② 職場編ー◇

講師：松居 温子氏（株式会社ダヴィンチインターナショナル 代表取締役）

日時：2026 年 3 月 21 日（土）16:00～18:00

このイベントの詳細は同封の「ドイツ語春期講習会」パンフレットをご覧ください。

◇（対面）花見◇

日時：2026 年 3 月 29 日（日）12:30～15:00 ※悪天候の場合は中止いたします。 お申込：不要

会場：練馬区光が丘公園（予定：芝生広場）開始時刻までに下記サイトに詳しい場所をお知らせしますので、必ずご確認ください。<https://www.jdg.or.jp/2026hanami/> 会場にはドイツの旗を掲げるつもりです。

持ち物：食べ物・飲み物・お皿・紙コップ・レジャーシートは各自持ち寄り下さい。

※ 悪天候の場合は中止となります。中止の場合は協会ウェブサイト当日 10 時までに告知いたします。

※ 当日は会場となっている「光が丘公園」でイベント「Cherry-Blossom Festa 2026」が行われています。飲食物の屋台も出店予定です。

◇（対面）懇談会サロン：3 月のテーマ「スタインウェイ・ジャパン創立の裏ばなし」◇

講師：鈴木 達也氏（元スタインウェイ・ジャパン（株）会長）

日時：2026 年 3 月 30 日（月）18:00～19:30

会場：日独協会セミナールーム 定員：24 名

会費：（公財）日独協会会員 500 円 一般 1,000 円 ※ 当日集金いたします。

申込み：お名前、（公財）日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、世話人の木田理事までメールでお申込みください。

申込先（木田宏海理事）メールアドレス：hi-kida (a) aurora.ocn.ne.jp ※ (a) は@に書き換えて下さい。

スタインウェイ&サンズ発展の歴史と、スタインウェイピアノがコンサートピアノで主流になる背景と、スタインウェイ・ジャパン創立と役割についてお話しいただきます。

Wir laden Sie ganz herzlich zu unseren kommenden Veranstaltungen ein und bitten Sie, sich wie folgt anzumelden:

1. Wenn kein Veranstaltungsort erwähnt wird, findet die Veranstaltung online statt.
 2. Sofern notwendig müssen Anmeldungen im Vorraus erfolgen. Anmeldungen werden von uns der Reihe nach bearbeitet.
 3. Bitte beachten Sie, dass wir sonntags und montags keine Anmeldungen oder Anfragen beantworten können.
- Informationen zu den aktuellen Aktivitäten der JDG finden Sie jederzeit auf unserer Internetseite (<http://www.jdg.or.jp>).
E-Mail: jdg@jdg.or.jp Tel.: 03-5368-2326 (Mo.-Fr. 14.00～17.00 Uhr) Fax.: 03-5368-2065

Sprachtreff (Online-Gruppentandem)

Datum: Samstag, der 14. März 2026, 11.00-12.40 Uhr deutscher Zeit (19.00-20.40 Uhr japanischer Zeit)

Beitrag: Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos / Alle anderen: 2.000 Yen

Anmeldung: Über das Online-Formular auf unserer Website

Der Sprachtreff schafft eine einmalige Plattform für sprachinteressierte Leute jeden Alters, die Deutsch bzw. Japanisch lernen und sich über unterschiedliche Themen unterhalten möchten. Es werden maximal 50TN zugelassen, um die Gruppen klein zu halten. Wir bitten darum, sich zum Sprachtreff anzumelden, wenn Ihr bereits in der Lage seid, Euch aktiv an Gesprächen zu beteiligen, also etwa die Stufe A1.2 erreicht habt. Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft freut sich auf Eure Teilnahme.

Hanami

Datum: Sonntag, der 29. März 2026, 12:30-15.00 Uhr (Sie dürfen kommen und gehen, wann Sie wollen)

Ort: Hikarigaoka Park (Nerima) Der genaue Veranstaltungsort wird Ihnen vor der Beginnzeit auf der folgenden Website mitgeteilt. <https://www.jdg.or.jp/2026hanami/> Wir werden am Ort des Hanamis die deutsche Fahne aufhängen .

Bitte mitbringen: Essen, Getränke, Teller, Pappbecher, Picknickdecken

※ Keine Anmeldung notwendig

※ Bei schlechtem Wetter wird die Veranstaltung abgesagt. Im Falle einer Absage wird am Tag der Veranstaltung bis 10 Uhr eine Mitteilung auf unserer Website veröffentlicht.

※ Die Veranstaltung „Cherry-Blossom Festa 2026“ findet am Tag der Veranstaltung im Hikarigaoka-Park statt. Dort werden Stände mit Speisen und Getränken vorhanden sein.

日独MANGAコンクール 2026



テーマは妖怪
誰だ、そこにいるのは？
—妖怪たちの不思議な世界—



日独MANGAコンクール2026

ご挨拶

(公財)日独協会はベルリン独日協会と共に、駐日ドイツ連邦共和国大使館後援のもと、2019年からの過去3回の実績を踏まえ、第4回「日独MANGAコンクール」を開催します。両国において漫画文化は共通の分野であり、今や世代を越えた情報・文化交流の手段となっています。コンクールの目的は“漫画を通して日独青少年の友好を深める”ことにあります。

2026年のテーマは「妖怪」。サブテーマは「誰だ、そこにいるのは？—妖怪たちの不思議な世界—」です。日本には昔から、家の隅や森の奥、夜道や水辺に現れる妖怪たちの物語が数多く語り継がれてきました。一方、ドイツにも、森や山、古城や村のはざまに棲む妖精や精霊、モンスターたちが登場する物語が、古くから人々の身近に存在しています。人ならざる存在は、恐ろしさを秘めながらも、どこか親しみを感じさせ、想像力を刺激する「隣人」のような存在とも言えるでしょう。本コンクールでは、日本およびドイツの参加者が、それぞれの文化背景や発想を生かしながら、「妖怪」を自由な解釈で漫画作品として表現することを目的としています。テーマは「妖怪」ですが、妖精・精霊・モンスターといった“人ではない存在”と広く捉えていただいて構いません。

コンクールを通じて、日独両国のマンガ愛好家や若い世代の関心を高め、文化交流と友好関係のさらなる深化を目指します。入賞作品は、東京およびベルリンを中心に展示会を開催し、あわせて授賞式を行う予定です。

国境や伝承を越え、想像力を思いきり羽ばたかせた作品をお待ちしています。

コンクール応募要項

【テーマ】「妖怪」

誰だ、そこにいるのは？妖怪たちの不思議な世界

【参加部門】

成人部門：社会人・大学生（または18歳以上）
ハイティーン部門：高校・中学校生（または13歳～17歳）
ローティーン部門：小学生（または12歳以下）
※ 2026年8月31日時点の年齢

【作品の形式】

A4サイズ 8 ページまたは16ページ（表紙含む）
白黒（表紙のみカラー可）

【応募条件】

漫画作画ソフトによる制作：可
複数作品の応募：可
画像生成AIを用いた作画：不可
二次創作作品：不可
R18作品：不可

◎第三者の著作権・肖像権などを侵害しない未発表のオリジナル作品に限ります。

◎プロアマ問いません。

◎応募作品の公開権利は、(公財)日独協会、ならびにベルリン独日協会に帰属し、展示、出版、インターネットなど無償で使用させていただきます。

◎主催者が生成AIによる作画と判断した場合、審査対象外とすることがあります。

◎青少年保護：応募作品の内容は青少年保護育成条例に則るものとします。

◎日本在住の方対象。

ドイツ在住の方はベルリン独日協会へご応募ください。

◎ドイツ語の原稿は日本語訳も添えてご応募ください。

【応募受付】

紙媒体（コピー）または電子媒体で受け付けます。
オリジナル原稿は受け付けておりません。

応募作品は返却できませんので、予めご了承ください。
また、下記オンライン応募フォームから「応募票」に必要な事項をご記入の上、お送りください。
作品は郵送または電子媒体でお送りください。

オンライン応募フォーム

⇒ <https://forms.gle/Yydk11eCudHcSodMA>



【お問い合わせ・送付先】

<郵送>

〒160-0016

東京都新宿区信濃町18-39 マヤ信濃町2番館

公益財団法人 日独協会

要明記：MANGAコンクール2026

<メール>

代表メールアドレス jdg@jdg.or.jp（日独漫画係）

【応募締切】

2026年8月31日

（郵送の場合は当日消印有効）

【審査員】

(公財)日独協会、協賛者及び関係者等

【賞品】

各部門の入賞者には協賛企業から賞品を授与。さらに成人部門の入賞者の中から1名（1組）の方に、両国間旅費補助として旅行券20万円分を授与